

1 事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されたことを受け、一定の感染防止対策を継続しながらも様々な面で制限を解除しての学校運営となった。

以下、令和5年度の事業概要について報告する。

(1)開校40周年記念継続事業

前年度の開校40周年記念事業の継続事業として、校舎の防水工事、外壁改修工事、玄関ホール内装工事などを行った。財源は、引き続き寄附を募るとともに、銀行からの借入れと自己資金で確保した。2年続けて大規模な改修が行えたことは施設の老朽化への対応というだけでなく、今後の学生募集活動についても施設設備の充実による効果は大きいと考えている。

(2)学校運営

令和5年度は、令和2年度に実施した授業料の改定が完成年度を迎えたことや、入学定員を超える入学者を確保できたことで一定の増収が得られた。

一方、支出面では、ICT教育の実施に伴うシステムの構築などの環境整備にかかる経費や、教育支援ツールの導入などの運用にかかる経費が新たな負担として発生した。

ただし、ICT教育はペーパーレス化を促進し、消耗品費の削減につながっている。今後、全学年で運用することになれば大きな削減効果が期待できる。また、令和6年度入学生からはICT教育運用費として1人あたり10万円を徴収することとしており、ICT教育の実施に伴う経費負担については最小限に抑えることができると考えている。

一般社団法人京都私立病院協会からの委託を受けて令和4年度に実施した「看護スキル確認講習会」については令和5年度も引き続き受託し、3クールで計12回実施した。毎回定員が埋まるほどの参加があり、看護職者の育成だけでなく、潜在看護師の掘り起こしの一翼も担うことができた。

(3)学生募集

令和5年度に実施した入学試験は受験者数が大きく減少し、結果的に令和6年度入学生は定員を確保することができなかった。要因は18歳人口の減少と考えられるが、これについてはある程度予測した上で対応してきたが、その影響は想定を超えるものであった。

情報収集の結果、京都の看護学校のほとんどが入学定員を確保できず、また、他の分野を含めても専門学校は全国的に苦戦を強いられたことが判明している。18歳人口は、令和6年度と令和7年度は令和5年度よりも全国で3万人程度増加するが、令和8年度からは再び減少していくことが分かっており、今後の学校運営の大きな課題として入試改革や募集活動の見直しなどについて早急に取り組んでいかなければならない。

(4)教育活動

コロナ禍による教育における負の遺産として、マスク着用によるコミュニケーション不足や、学校行事の中止・縮小による学生の経験不足、学校としての伝統の継承が難しくなることなどが指摘されている。

こうしたなか令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、対面を基本とした授業や学校行事を行うことで、コミュニケーション能力を強化することや主体的な行動を身に付けること、

また達成感を得ることで「やり遂げる経験」を積むことなど、他職種と連携して業務を行うことができる看護職者の育成に重点を置いて教育を行った。

さらに、令和5年度入学生からはiPadと電子テキストを活用したICT教育を導入した。導入初年度ということで当初は教員・学生とも慣れない部分があったものの、少しずつ円滑に教育が実現できるようになり、学習意欲を高めることや理解を深めることといったICT教育ならではの教育効果を得ることができている。

第38期卒業生は71名で、看護師国家試験は67名の合格、保健師国家試験は36名の合格(39名の受験)となった。この期生は新型コロナウイルス感染症の感染拡大後の最初の入学生で、入学式の中止や約2ヶ月の休校、その後はオンラインでの授業という制約の多い環境のなかで1年目を過ごしており、学生同士の関係性の希薄さなどから退学が相次いだため、卒業者数が少なくなった。

2 主な学校行事

令和5年	4月	6日	ユニフォーム採寸・感染症抗体価検査／新入生
		10日	始講式／在校生
		//	第41期生入学式
		11日	新入生オリエンテーション(～13日)
		20日	講師会
		27日	実習指導者会議
	5月	16日	健康診断／両学科1・2年次生
		18日	看護の日／両学科1・2・3年次生
		20日	健康すこやか学級／看護学科2年次生
		24日	春期レクリエーション祭・新入生歓迎会
		29日	学校法人京都中央看護師養成事業団 第37回・38回理事会 第37回評議員会
	6月	8日	看護スキル確認講習会1-①
		9日	看護スキル確認講習会1-②
		15日	特別講演／両学科1・2年次生
		17日	第1回オープンキャンパス
		20日	学校関係者評価委員会
		29日	看護スキル確認講習会1-③
		30日	看護スキル確認講習会1-④
	7月	1日	健康すこやか学級／看護学科2年次生
		15日	第2回オープンキャンパス
		21日	学生夏期休業(～8月18日)
		26日	実習指導者会議・夏期研修会(オンライン)
		29日	第3回オープンキャンパス
	8月	3日	看護スキル確認講習会2-①
		4日	看護スキル確認講習会2-②
		7日	看護スキル確認講習会2-③
		8日	看護スキル確認講習会2-④
		19日	第4回オープンキャンパス
	9月	1日	<視察来校>茨城県保健医療部医療局医療人材課 茨城県立中央看護専門学校
		16日	第5回オープンキャンパス(オンライン)

10月	7日	健康すこやか学級／看護保健学科2年次生
	18日	関西看護学生看護研究大会
	28日	看護研究発表会／看護学科4年次生
	30日	学校法人京都中央看護師養成事業団 第39回理事会・第38回評議員会
11月	2日	看護研究発表会／看護学科4年次生
	4日	指定校推薦入学試験
	18日	公募推薦入学試験前期
	21日	第1回学校運営会議
	29日	卒後継続教育
12月	2日	保護者会
	16日	公募推薦入学試験後期
	19日	第2回学校運営会議
	25日	学生冬期休業(～1月7日)
1月	9日	一般入学試験前期(～10日)
	11日	看護スキル確認講習会3-①
	12日	看護スキル確認講習会3-②
	//	第3回学校運営会議
	17日	実習指導者会議
	18日	看護スキル確認講習会3-③
	19日	看護スキル確認講習会3-④
2月	3日	健康すこやか学級／看護保健学科2年次生
	7日	卒業認定会議
	8日	開校記念日
	9日	第110回保健師国家試験
	11日	第113回看護師国家試験
	17日	一般入学試験後期
3月	8日	卒業生を送る会
	//	卒業講演
	11日	第38期卒業式
	13日	健康診断／両学科2・3年次生
	15日	防災訓練
	16日	看護職就職・就学合同フェア
	18日	学校法人京都中央看護師養成事業団 第40回理事会・第39回評議員会
	20日	学生春季休業(～4月8日)
	21日	単位認定会議
	22日	国家試験合格発表

3 学生関係

(1) 学生数

【看護学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和5年4月	44名	40名	44名	34名	162名
令和6年3月	41名	40名	43名	34名	158名

【看護保健学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和5年4月	44名	42名	44名	39名	169名
令和6年3月	43名	41名	42名	39名	165名

(2) 第38期卒業生の状況及び国家試験結果

【看護学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
32名	看護師	32名	31名	96.9% (87.8%)

【看護保健学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
	看護師	39名	36名	92.3% (87.8%)
39名	保健師	39名	36名	92.3% (95.7%)

(3) 令和6年度学生入学試験

【看護学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	14名	14名	14名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	31名	29名	11名	1名	2.42倍
公募推薦入学試験後期	10名	10名	4名	3名	1.43倍
一般入学試験前期	24名	22名	9名	－	2.44倍
一般入学試験後期	1名	1名	1名	－	1.00倍
合計	80名	76名	39名	4名	1.77倍

【看護保健学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	9名	9名	9名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	28名	25名	12名	1名	1.92倍
公募推薦入学試験後期	7名	7名	4名	2名	1.17倍
一般入学試験前期	17名	16名	15名	－	1.07倍
一般入学試験後期	－	－	－	－	－
合計	61名	57名	40名	3名	1.33倍

4 事業団役員(令和6年3月31日現在)

理事長	久野成人	医療法人社団育生会理事長(京都久野病院)
副理事長	清水鴻一郎	医療法人清水会理事長(京都リハビリテーション病院)
常務理事	原 昭彦	(専)京都中央看護保健大学校事務局長
理 事	久保俊一	(専)京都中央看護保健大学校学校長
	清水史記	医療法人清仁会理事長(シミズ病院)
	志摩裕丈	京都市保健福祉局医療衛生推進室長
	高木敏貴	京都岡本記念病院院長
	武田隆久	武田病院グループ理事長(医仁会武田総合病院)
	西城嘉子	ライフ・イン京都顧問
	畑 典男	長岡病院院長
	平川祐子	(専)京都中央看護保健大学校同窓会顧問(十条武田リハビリテーション病院)
	松井淳琪	京都九条病院院長
監 事	森副高行	京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課担当課長
	吉川順介	医療法人社団貴順会会長(吉川病院)
評議員	赤木 博	医療法人新生十全会理事長(なごみの里病院)
	阿形奈津子	(専)京都中央看護保健大学校副学校長
	石束佳子	(専)京都中央看護保健大学校顧問
	石丸庸介	医療法人社団石鎚会理事長(京都田辺中央病院)
	出野 順	(専)京都中央看護保健大学校事務部長
	高松晃司	京都成蹊法律事務所弁護士
	津崎桂子	一般社団法人京都私立病院協会事務局長
	富田哲也	社会福祉法人京都博愛会理事長(富田病院)
	仲田昌司	三菱京都病院事務長
	能勢亜友子	(専)京都中央看護保健大学校同窓会会長
	真鍋雄一郎	医療法人社団医聖会常務理事(八幡中央病院)
	村上英明	元 京都市立西京高等学校校長
	矢田貴子	堀川病院看護部長
	吉島紀江	京都華頂大学現代家政学部教授